

J R 総連通信

2023年11月15日 No.1692

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

国際労働者交流センター(ICLS)が国際運営委員会を開催！ 戦争に反対する決議を採択！

国際労働者交流センター（ICLS）は10月30日、タイ・バンコクで第32回国際運営委員会を開催し、ICLSに加盟する10か国26名の代表が参加し、JR総連より山田国際部長が参加しました。

委員会では各国の状況、ICLSの今後の活動を議論。労働フォーラムの開催、ICLS活動の強化を確認しました。さらに、ウクライナ、パレスチナ自治区での戦争、南シナ海での紛争について議論し、決議を採択しました。

JR総連はICLS加盟組織の一員として、労働者の国際連帯の強化を目指していきます。

2023年ICLS国際運営委員会決議 No.1

ICLSはガザ地区で広がりつつある危機について懸念を表明する。

ICLSは国連とその他の国際社会に対し、ガザ地区とイスラエルの間での即時停戦、民間人への攻撃の中止を求める。

私たちはあらゆる国際法の違反について懸念を表明する。私たちはパレスチナとイスラエルでの市民の殺害に哀悼の意を表す。

国際人道法（戦争法）の下では、紛争当事国には民間人の生命を守る明確な義務がある。

危機が拡大し、民間人がその代償を払い続けている中、私たちは国際社会全体に対し、即時停戦とあらゆる国籍の民間人への攻撃の中止するよう行動することを求める。

2023年ICLS国際運営委員会決議 No.2

私たちのすべての思いはウクライナの人々とともにある。戦争が勃発するのを目の当たりにし、世界中の運輸労働者の心に重くのしかかっている。

私たちICLSは世界の労働運動や国際社会と連帯し、戦争を非難し、すべての当事者に対し国際人道法と人権法を厳守するよう呼びかける。この紛争は今すぐ止めなければならない。

私たちは、特に労働者が脅威にさらされていることを知っている。

私たちは、平和、対話と外交を求めるウクライナ、ロシアおよび近隣諸国の労働者と連帯する。

私たちは自制の姿勢を示し、外交と、民間人の生命への脅威を最小限に抑えるために紛争を直ちに緩和する、あらゆる立場の指導者を必要としている。

さらに状況がエスカレーションすれば、大量の人命が失われ、難民が発生するだけでなく、地域全体の労働者が壊滅的な打撃を受けることになるだろう。

ロシアとウクライナ、欧州全体とNATO加盟国を含むすべての当事者は、緊張を緩和し、この危機の平和的かつ外交的終結を模索するために全力を尽くさなければならない。

2023年 ICLS 国際運営委員会決議 No. 3

南シナ海

ICLS は、南シナ海をめぐる紛争において、すべての当事者へ自制を求める。
紛争が激化すれば労働者が犠牲になる。アジア太平洋地域のすべての人々にとって良好な経済的・財政的状态は、南シナ海を通る開かれた貿易ルートと本質的に結びついている。
紛争は軍部の立場を強化し、労働者階級に不利益をもたらすだけである。



International Center for Labor Solidarity (ICLS)

1412 Shinchang Viva Family Bldg, 232-1, Yongdap-dong, Seongdong-gu, Seoul, KOREA
Zip Code 133-850, Tel: +82-2-466-4600 Fax: +82 2 4978 234 E-mail: icls@icls.or.kr

Manila office BKM House, PNR Compound Tayumanor Dagupan Sta, Tondo Manila, Philippines
Tel: +63-2-3190161

Tokyo office 3-2-13 Nishi-gotanda, Shinagawa-ku, Tokyo, Japan 141-0031
Tel: +81-3-3491-7191 Fax: +81-3-3491-7192

ICLS ISC Resolution No.1 s. 2023

We the ICLS, express our alarm about the unfolding crisis in Gaza.

The ICLS call on the United Nations and the rest of the international community, to immediately call for a ceasefire and for an end to the targeting of civilians in Gaza and Israel.

We express our concern about all violations of international law. We mourn the killing of civilians, Palestinian and Israeli.

Under international humanitarian law (the laws of war) parties to a conflict have a clear obligation to protect the lives of civilians.

As the crisis unfolds and civilians continue to pay the price, we urge the whole international community to immediately call for a ceasefire and for an end to the targeting of civilians of all nationalities.

Adopted this 30th of October 2023, on the International Steering Committee meeting of the ICLS held at the State Railway Worker's Union of Thailand office, Bangkok, Thailand


Edgar Bitayon BKM-PNR-UTWO, Philippine


Satoru Yamada JRU, Japan


Somsak Kosalsook SRUT, Thailand


Lee Wonjeong ICLS Korea committee


Todd Valster RMTU, New Zealand


Shayne Kummerfeld RTBU, Australia


Liu Tsung Han TRLU, Taiwan


Altankhuyag Baasan FMWRTU, Mongolia


Muhammad Faizal Bin Shahibul Kiraya RUM, Malaysia


Tina Agustien SPKA, Indonesia

↑ 採択した「戦争に反対する決議」